

?

た〜いぢよ〜、話して？

目の前の少女はアク〇レス、君〇唯(きみ〇げゆい)。
今日の出撃が終わった後、少し気になることがあって
若干冗談交じりに注意を促していた。

えー、大丈夫なのかって……何が？

唯はモデル志望だったんだよ。
あーというのいくだけでも着てきたし、
ちよつと恥ずかしいけどなんてことないってば

明日、唯はコンパニオンスーツを着てイベントに出るのだが、
スーツの形状がやや扇情的で、男の視線を集めてしまうと思っただ。
最近、アク〇レスがヴァイスと関係ないところで行方不明になる
事件がチラホラと発生していた。

一般客も多く訪れるイベントなので、
気を緩めすぎないように、とお固いことを言ってしまうのだが

分かってます。
唯に限って、さらわれたりとかしないって。
というか……



ニヤニヤ

あれあれ？
もしかして隊長、
唯のこと心配してくれてるんだ？

ニヤリとした笑みを浮かべ、
挑発気味にこちらを見つめてくる
そういつたところに惹かれてしまっているのだが、
なんとも実に生意気だ

全く隊長は心配性だない、
本当に問題なんてないってば

でも……ありがとねっ、ちょっと嬉しいかも。
明日は言われたとおり、気をつけまーす

唯の笑顔で今日の仕事の疲れは吹き飛んだ。
まあイベントもなんてことなく、
そつなくこなしてくれるだろう

サボったりしないところでも隊長、
サボったりしないしちやダメだからね？



しかしこの日以降、
そんな唯の笑顔を見ることはできなかつた……。
翌日、イベントに出演してからどういふものの、
唯と連絡がとれなくなってしまう。

様々な場所、会社に連絡し、自分の足も使って搜索したが、
目撃情報も唯の居場所の手がかりも掴むことはできなかつた。



唯と連絡がとれなくなっではや2週間……
手がかりも何もなく、途方に暮れていた。

そんなときだった。

大量のファイルが添付された差出人不明のメールが届く。
件名「アーク・レス」

普段はこんなわけのわからないもの相手にしないが、
何か新しい情報が入ってこないかと、
藁をも掴む思いで内容を確認する

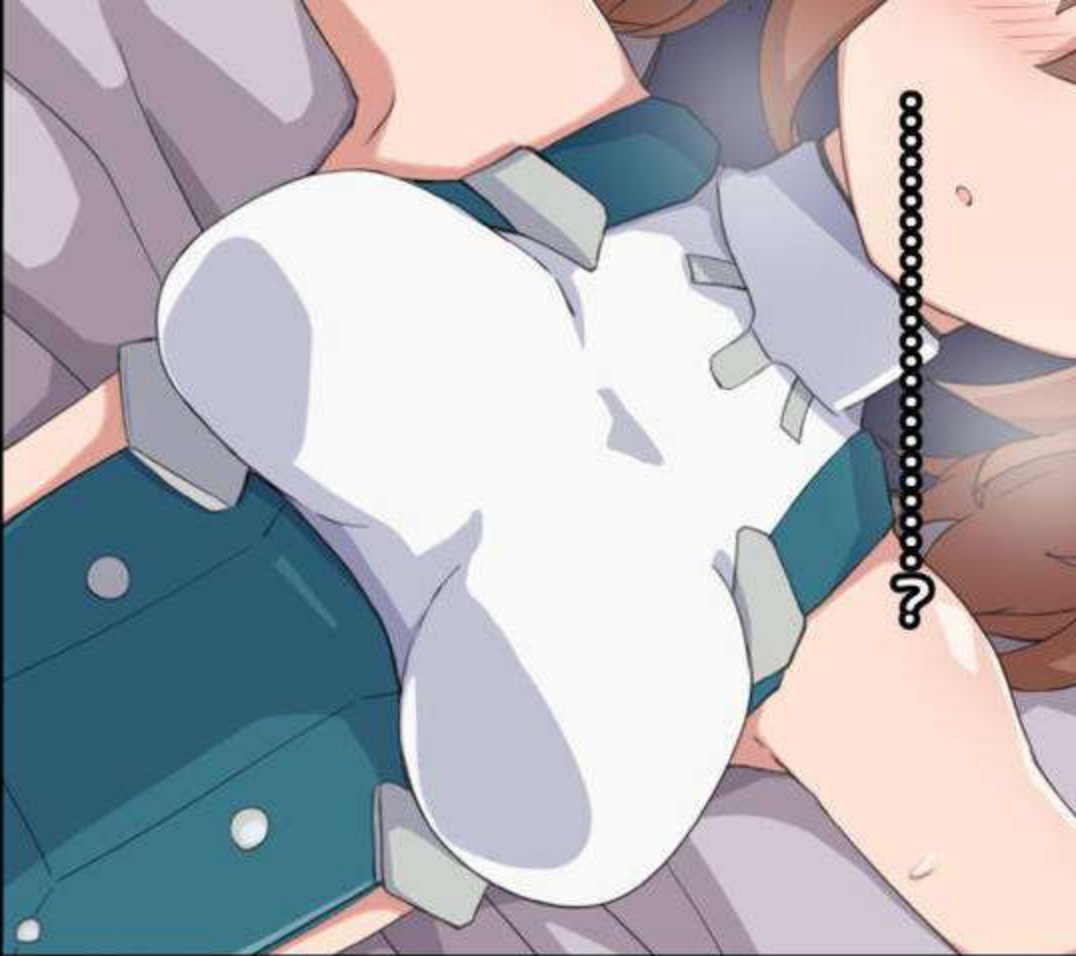


……………イタズラか

ファイルは画像、動画が入り混じっていた。
番号が振られていたので、おもむろに最初から見ると、
女性？ の裸体の写真のようだった。

やけに鮮明で、イタズラにしては意味がわからない。
いつもならば軽く笑って、少し眺めるくらいはするだろうが、
唯の安否がつかめない今、そんな心の余裕はない






それでも何か心に引っかかるものを感じ、
フアイルを順番に開いていく。
すると、アクトレスのスーツを着せられた写真が数枚。
着ている人物は寝て……拘束されている？
最初の方の裸体写真と同一人物？
しかもこのスーツは……そんなまさか




心臓がバクバクと高鳴っている。
コスプレ用かなにかのスーツだと思いたい。

次の番号が振られていているファイルは映像だった。
おそろおそろ再生を開始する。



そこにはまたもや見覚えのあるスーツ。
ウインドウを拡大しようとしたが、
気が動転してしまい、画面がガタつく。
そんな、どうして………ゆ、唯なのか





画面の全体がうつしだされていく。
薄暗い部屋のようだが、映っているのは
コンパニオンスーツ姿のままの唯。

それと、謎の筋肉質な男だった。

えー、と、はい……それではね。
これはあく○レスのファンの為に撮影しています。
隊長？ さんもどうぞ。
唯ちゃん、連れ込んだんじゃないです。

男は設置したカメラ？ に向かって話しかけてくる。
わけもわからないまま、画面に集中して男の言葉に集中する

俺みたいなのは人間はアクレスハンターって呼ばれてる。
人気のアクレスを捕まえて、動けないようにしてな……
写真撮ったりして色んなトコに売るのが

zzz

いっ
いっ

すー
すう…

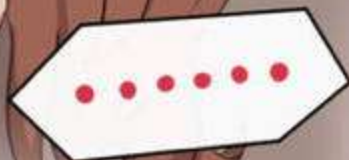
ん
ん

唯は……唯は眠らされているようだ。
頭がゆらりゆらりと揺れ、
男にカラダを預けるままになってしまっている

こういうカンジで撮影して……
親しいやつ、恋人とかに送りつけるモノも客の間で流行っててね。
今回はそういう趣向を凝らせてもらおう

この前のイベントでターゲットを探して色々眺めてたんだけど、
とくにこの君〇唯ちゃん、生意気にもこっちを睨み返してきたな。
あんまり腹立ったからこっさり葉盛って連れてきちゃった

さす
さす



Zz...

下卑た視線に対してキッと睨み返す唯の顔が容易に想像できる。
頼む、唯、起きてくれ……そこから逃げ出してくれ……!!

アク〇レスがレ〇プされる動画はスゲー売れるんだぜ。
ほら、唯ちゃんも全然起きられないみたい、だしなっ

そういうと男はおもむろに唯の胸へと手を伸ばし、
何の躊躇いもなくジツパーを下ろした

お、遠目で見たらちっこい印象だったけど、
やっぱり結構、デカいよなあ

んっ……んう

んっ

フッ……

ピクン

ギュ

ぴっちりと包まれていた乳房が、
無防備にさらけ出されてしまっ
たらダを軽く揺らされる度、
ぷるんと弱々しく上下する

そのまんま連れてきちゃったからなあ。
シャワーも浴びさせてないし……
ちよつと汗の匂いするけど、興奮するな。
まあ、汗くさいのはお互い様かな、俺もシャワーまだなんだ

そんな……もう止めてくれ。
映像が途切れる。恐ろしいことに、動画、画像のファイルはまだまだある。
そんな、これ、全部……唯が、映ってるのか

ふう〜……おしおし、準備オーケー

ちよつと眠りが浅いかな。本番の撮影はこことは別の場所でやるんだけど

ここは、ホテルなのだろうか。いや、そんなことより、唯が、唯が……

zzz

??

…ん;

リプル

チュ

びとん

47

俺が我慢できないので、ココで一発抜かせてもらおうわ。唯ちゃんの生意気なカラダ、いたただきま〜す

画面が揺れる。カメラを手で支えての撮影のようだ。そして器用にも男は、ペ〇スを露出させ、唯に押し付けている……

男は唯のスーツをずらし、
乱暴にペ〇スを挿入していく。

キュッ

あうっ……んっ

うんっ

おいおい、思った通りキツキツだねえ。
こんな未成熟なカラダで大人の男を睨んできやがって

ピン

グッ

ババ

唯は苦しそうだ。
男はそんな唯を気にすることもなく、
勝手にブツブツと話しかけていた

……ふり、入った入った

んん

んん……

ピン

キュウ

グ
プ
ン

グ
ッ

唯がレ○プされている。
こんな映像を見ても何も解決にはならないのに。
目を離すことはできなかつた……

はは、男をバカにするとどうなるかわかったか？
聞こえないか……続き、楽しもくな

222...

あっ……んう、んうっ

おらおらっ、悔しかったらなんかないか言ってみろ。
まったくこんな格好でア○レスだあ？

んじ……

ス……ス……

ア……

ぐ……

びっ

ズ……

ズ……

ぬ……

は、けしからんけしからんっ。
これを見てる男もみんな、
唯ちゃんといっただろうよ

唯のア○コに脂ぎったペ○スを打ち付けていく。
唯と男、2人の息は荒くなり、部屋の熱気が伝わる

男は唯の腰にぴったりと密着した後、
ふるふるとして身体を震わせている。射精しているのだらう。
見る限りでは、ゴムはしていなかった………

んはう、
~~~~~

キュッ

?! ~~~~~

ヒュッ

キュッ

びゅん

びゅん

ビュルル

ビュッ

くっくっくっ………

びゅん

まだまだ！ 最近抜いてなかったからな。  
濃い精液、全部受け止めろっ！

んっ!!

びゅん

男は以降何も言わなかった。余韻に浸っているのだらうか。  
唯が目を覚ます気配はない。精液で膣内が汚されていく

唯が汚されてしまった………。  
シヨックで頭がどうにかなりそうだったが、  
ファイルの数はまだまだ残されている。

恐る恐る開くと、そこにはスーツを着せられ、  
謎のベッドに拘束されている唯がいた。

あー……よし、と。見えてるか、隊長さん。  
こうやって、な、よし、オーケーオーケー！  
カメラがいくつか取り付けられたベッドに拘束して

男がボンボンとしゃべっているが、よく聞こえない。  
唯のことが気になって、頭に入らなかつた

〜…

ス、ス、ス……

カチカチ

〜

ギル、

ニ

写真とか映像撮影して、いろんなトコロに売り飛ばすってわけ。  
あっちこっちのシャードにゲスいファンはいるからなあ

ふいに唯のカラダに影が落ちる。  
男が近づいてきたのだろうか

んで、そんな奴らにアク○レスのスーツレプリカ  
作れるヤツもいるんだよ。着せて色々してやると……  
これがまた金になるんだよな、つーことで

あう……っ

あう！  
もう、我慢できねえっ、ふう、んんっ

ギューッ

ズッ  
ズッ

脂ぎった顔をスーツの上からこすりつける。  
形のよい胸が形を変えてしまう

少しカメラが揺れたかと思うと、  
男が乱暴に唯の胸の上に覆いかぶさる

..zzzz

ぐぐぐ...

あゝ乳臭え甘い匂いだなあ。  
何食ったらこうなるんだか

唯が寝ているのをいいことに、  
男は顔を埋め続ける。息も荒い。  
唯の匂いを十分に吸い込んでいるようだ

ふうふう、すう、はあ〜〜〜  
うんうん、こりゃご褒美をやらないな

がちゃがちゃ  
ぽんぽん

もみっ

ぐんぐん

ちゅ

ぐんぐん

ぐんぐん

唯ちゃん、どうかな、男の味は

！？焦りで机を揺らしてしまった。  
次のファイルを再生した瞬間、  
唯は唇にペ○スを押し付けられている

47ッ

ちゅ

ファーストキスはどうなんだ、え？  
俺のち○ぽだったらいいんだけどな、へへ

お

ビク

すでに我慢汁を垂れ流しているペ○スを唇の上で動かされている。  
こんなものは見たくない。はやくどかしてくれ……

んごおっ……!!

んぶうっ!!

嫌な予想通りになってしまった。  
男は唯の苦しそうな顔をものともせず、  
脂ぎったペ〇スを口内に押し込んだ

ゴポッ

ムチュン

ビクン

んっ、んむう、んっんっ

おうおう、舌が暴れる暴れる。  
ネバついた男の匂い、ゆるっくり味わえな

おまのの映像に目の前がクワクワしてへん。  
唯、しっぺしたひびきを前を助けられるんだ



はあ、はあ、おち、  
このまま出すぞー！  
全部、出るっつ

んんん

んんん！！

がちゃ  
がちゃ

ど  
ぶ  
ぶ  
ぶ

ぐ  
ぐ

ぐ  
ぐ

ズ  
ズ

……男はより奥にペ○スを押し付け、思い切り射精している。  
唯の口元から精液が溢れ、汚されきってしまう。  
男はそのまましばらく動かなかった

くぅ、はあっ！ 出た出た。  
ほら、全部飲まねえと、  
離れてやらないからな

グッグッ

チュッ

フムフム  
コクッ

んっんっ、コケン

んっ...  
ん

唯の鼻先には男の陰毛に包まれたまま、  
男は残尿感を払うように、腰を軽く動かす。  
唯の口は、男の便器のようにながれられてしまっている

よしよし……よあ、奥に残ったのも、出し切ったと……

んっん

ふい〜……出した出した

むっ、んぐ……

どろっ

んぐっ

次のファイルを再生した瞬間、あまりの映像に目の前が暗くなった

唯……なのだろう、先程と同じよく知っているスーツのまま、顔の上に座られていた。男はもちろん、下着を着ていない



あゝ、ダメだダメだ、  
寝とけ寝とけ

ズリッ

ちゅ

息がかかってたまらんね、  
唯ちゃん、俺のアール越しの空気はどうだ？

んっ!

苦しそうにする唯を気にもせず、  
ものついでのように胸を弄り回す。  
さらに、強めに尻を押し付け続ける

ヌ

クリ

キゅー

もう……やめてくれ。  
意識がなくて幸いだったかもしれない。  
こんなこと、耐えられるはずがない

ふう、んあ、はは、ちよつと出ちまった。  
さっき出したばかりなんだけどな

ビクッ

んちゅ……ん、ん

この姿もすっかり撮ってやらないとな。  
動画は撮ってるが……ん、撮れてるよな？

男が軽く射精し、唯の胸元、お腹を汚していく。  
そのまましばらく動く気配はなかった

ギョ

どろっ

ドク

ブルブル

男は満足したようだが、その後数分間、  
尻を軽く前後に動かすだけの映像が続いていた……

唯はまた別のスーツに着替えさせられていた  
このスーツのレプリカまで用意してあるのか

はーいちょっと時間も経っちゃったからね、  
もうちょっと深く眠ってもらうかな

んっ、んうう

んっ...

もぞ...

男は右上の装置らしきものを触っているようだ。  
少しカメラも揺れるが、唯が起きる気配はない



男の指が無造作に唯の胸をつねりあげる  
表情が少し反応を示すが、それだけだ

おら、なんだこのツンとした乳は、  
コイツも誘ってんのか？

んっ!

ギョウ♡

ビクッ

ほら、こんなことしても起きないんだよ。  
さあて唯ちゃん、いいのーかー。  
隊長さんにも見られてるんじゃないのかな

画面を見ていることしかできない自分に嫌気がさす。  
見ようが見まいが唯を助けることはできないのだが、  
どうしても、このまま見ないわけにはいかなかった



唯は向きを変えて拘束させられていた。背中の肌を大きく見せるスーツだ、これでもかというほどさらけ出している

..zzz

フィルッ

47ッ

むちっ

後ろからの眺めも最高だな、なんだ？ このケツは、おい

...

ベッドに取り付けられたカメラの子エックなのか、軽く画面が揺れた。そのついでかのように唯の尻を無造作に撫で、男の上品な笑い声が聞こえてくる

うー、これまた男のち○ぽを吸い替せるケツだ。  
隊長さんにもみろしくしくもぶっつんののか？

くちゅ

〜

びと

ピキッ

男はペ○スを取り出し、動かぬ唯に押し付けていった。  
すでにそそり立っていて、唯を責め立てるかのようだった

っ

zz

このスーツの触り心地もいいな。  
またレプリカ、用意しとかないとな、  
この映像を見てるお客さん、頼みますよ

びゅん

男の動きは早くなっていく。  
唯のカラダは揺れるが、表情は見えない

はあ、はあ、おい唯、なんてケツしてんだお前は、  
こんなケツで、生意気なツラしやがって……

んっ、ん……

ひゅっ

ズジュニ

ヌチュッ

俺の匂い、思いっきり染みつけてやるからな、  
おれ、聞いてんのか、はあ、はあ

男のペ○スからは我慢汁が垂れている。  
黒いスーツに軽く染みを作っていた

おっっっ……っっっ……っっっ

男は身体を震わせて射精した。  
唯の尻にペ〇スを押し付けたまま、背中を汚していく

ビュウッ

びゅっ

~~~~~

ぬとっ

ゾク
ゾクッ

はあ……ふうり、尻もスーツ越しに、精液くさくさしてやる。
ありがたく思えよ……オスの匂いまみれだな

唯がここまでされるようなことをしたのだろうか。
悔しさと嫉妬まじりで歯きしりしてしまう。
まだ、目の前の映像が信じられない

zzz...

はー...
はー

ギョギョ

ぽよん

みくみく

…：…いよいよスーツを脱がされた、裸にされている映像も続いている。施設にシャトルでもあるのか、唯の身体は綺麗にされている。

白くすべすべしてゐるよなあ。どうしても股間にきちまうよ。

当然男も近くにいるようだ。無防備な全裸をさらけ出してゐる姿をどれだけの時間晒してしまつたらいいのだらうか

おもむろに唯の股間を弄りはじめる。
少しくすぐったそうに顔をしかめるが、それだけだ

身長割にホントいい胸してるが、
下の方も結構立派だよなあ

素晴らしいながら陰毛を撫で回したり、
大事なところをさすったりしている。

???

んっ...

ピクッ

サワ...

すりすり

ヒクッ

んっ!!?

さてさて、んじゃ、そろそろ汗くさいから○ぽが
失礼しちゃいますよ〜と、へへへ
ちっちゃいナカに全部、出してやるぞ

男は唯の裸体に容赦なくペ○スを突き入れていく。
胸が揺れ、苦しそうな様子が伝わってくる。

あっ……んうっ、んっ

あっ
んっ

キムン

いびき
んっ

んっ
んっ

ヌン
ン

ズン

クチャ

まだまだ、狭ッ苦しいけど、いい刺激だ。
やっぱアク○レスは、こうでなくちゃな

男が軽く体制を直し、唯のカラダは合わせて軽く揺れる
大事なアク○レスが男のオ○ホールのように使われてしまっ

ふっ、ふっ、ふっ、ふっ

あっ、ん、
あうっ、あうっ

コイツ、こなれてきやがって、まあいいや。
そ、そろそろ出すぞー！
アッコから精液の匂い、とれないかもな

男の動きが激しくなってくるが、
唯の口元が少し緩みはじめる、
刺激に慣れてきてきているのだろうか

ピクッ

ズズ

ププ

..zzz

あ...ん

すう.....うう、すー

すげえな、まだ、気持ちよすぎて、動けねえや。
今日のところは、こんくらいだな.....ふう

はあ、はあ、はあ.....>>>>

トク、ミ

ポコ

グジグジ

ぐちゅ

男も疲れ切ったのか、ゆっくり腰を動かすくらいで、
唯のそばから離れようとしな。い。
マーキングするかのようにしつこく膣内を汚す

結局唯と繋がったまま、この映像は終わっていた。
もう無意識のうちに、最後の映像を再生する.....



——最後の映像ファイルを再生する。
画面の中心には、女性の大事な部分が大きく映し出された。

画質もよく、薄い陰毛まではっきりと見える。
ベツトリと粘ついた精液らしきものが、
腔内からこれでもかと溢れ出ている。

ジー……という音と共に画面が動く。
カメラの駆動音だろう。徐々に全体が見えてくる

当然、唯の姿だった。両足の拘束具は足を開かせるようになってくる。ふくらはぎが固定され、下半身がベッドから浮かされてくる。こちらに向けて秘部を丸見えにさせていた。

ほらほら、カメラに向かって顔を向けて

う……んう

グイッ

はー
はー

ヒン
ズク
ネット

ふん
ふん

男に髪を乱暴に掴まれ、こちらを向かされている。眠らされたままだが、目の端からわずかに涙が溢れ、激しく汚されたということが嫌でも分かる。

もうしばらくは唯ちゃんには俺の性欲処理を担当してもらうって、その後は……映像を気に入った客に買われちゃいます

半笑いで男はカメラに向かって話し続けている。ここからどうすれば、唯を助けることができるのだろうか

そして恐るべきことに、届いた画像と動画のファイルの日付は、
約1週間も前のものばかりだった。



唯は今もどこかで、この筋肉質な男……あるいは顔も知らない
人間に汚され続けているのだろう。
もう何度も目は覚ましてはいるはずだが、
唯はどうしての自分の無能さに嫌気が指すが、
隊長としての自分の無能さに嫌気が指すが、
もうどうしようもない……



END